

市政を問う 一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をたずねることです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、23人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

(政和) = 政和会

(公明) = 市議会公明党

(フォ) = フォーラム小平

(生ネ) = 生活者ネットワーク

(共産) = 日本共産党小平市議団

(市自) = 市民自治こだいら

行政一般

市内における振り込め詐欺の実態とその対策について

常松大介議員(フォ) ①市内の被害者の実態は。

②今後、市が実施する予定の対策は。

市長 ①小平警察署からは傾向として60歳以上の女性の被害が多いと聞いている。

②(仮称)小平市安全安心まちづくり協議会を小平警察署、小平防犯協会等の協力により設立し、情報交換や市民への啓発運動などを実施する方向で検討している。また、小平地域安全のつどいにおいて振り込め詐欺撲滅宣言を行い、協議会設立に向けたアピールを行うことも検討している。

宮崎照夫議員(政和) ①市制50年誌、市史編さんの進展状況は。

②どのような記念事業を考えたか。

③市制施行記念のパレード(昭和37年10月1日)



ているか。

市長 ①本年度は市民から聞き取り調査を行い、研究会を開催して小平の歴史的な特色についての研究を進めている。また、史料集と市史研究第2号を刊行予定である。

②記念事業の枠組みとしては記念イベント、市民提案事業、市民団体や大学との連携事業等が考えられるが、今後、市内において検討を進め、基本的な考えを整理した上で事業計画を策定していきたい。

期日前投票制度をさらに利用しやすく

山岸真知子議員(公明) ①入場整理券の裏に期日前投票宣誓書兼請求書を印刷できないか。

②会場の増設や東西の出張所での日数を増加できないか。

選挙管理委員会事務局長 ①宣誓書は選挙当日、みずから記入することが法令で定められている。1つの選挙で2度訪れる投票者の防止などには効果があり、当日会場で記入するのが最良の方法と認識している。

②多摩地区で本庁のほかに3か所以上投票所を設置している市は4市であり、選挙日直前の繁忙期に増設することは厳しい状況である。日数の増加は応援職員や会場の確保に問題があるため、今後の課題としたい。

定額給付金などが支給されないDV被害者に給付金の支給を

橋本久雄議員(市自) ①定額給付金や子育て応援特別手当に

相当する金額を市独自でDV被害者に支給できないか。

②支給を決定していない市は三多摩で何市あるか。

市長 ①要望があつたので検討してきた。今後、対象となる方の状況に十分配慮しながら早い時期に実施していきたい。

②本年5月現在で当市を含め21市という状況であつた。当市同様、その後検討している市もあると考えるが、現時点での各市の実施状況の把握については給付対象者の状況への配慮もあり、回答を得ることが困難な状況である。

小平市は不適切な昇給「わたり」があるのか

鴨打喜久男議員(政和) ①対象者の人数は。

②「わたり」が生じた理由は。

③地方公務員法違反になるが、認識は。

④どのように是正するか。

市長 ①236人となっている。

②平成13年度に給料表を都に準じたものに改めた際に、都で導入されていた制度をあわせて導入したためである。

③条例と規則で給料表と標準的な職務内容等を定めているため、違反とは考えていない。

④すでに職員団体に提案し、協議を重ねている。

西部市民センター以西地域に証明書自動交付機の設置を

齋藤貴亮議員(フォ) ①動く市役所の利用状況は。



証明書自動交付機 (市役所1階)

18年度、19年度、昨年度の順で鈴木地域センターが6件、5件、5件、中島地域センターが41件、351件、371件、小川公民館が59件、71件、25件、上水南公民館が274件、299件、301件、大沼地域センターが78件、70件、93件である。

②設置場所の確保が難しい。なお、平成24年度に小川町二丁目に開設予定の地域センターへは配備を予定している。

平和施策をさらに進めよう

木村まゆみ議員(共産) ①オバマ大統領のプラハでの演説、世界平和市長会、日本非核宣言自治体協議会等への考えは。

②コンサートや講演会、パネル展の開催や非核平和都市宣言のレリーフ作成等はできないか。

市長 ①市も平成17年に非核平和都市宣言をしており、核兵器廃絶を求め、平和実現に努めるべきと認識している。

②非核平和事業のあり方等に関する懇談会で検討し、これからの取り組みと合わせて今後の事業内容を考えていきたい。

医療健康

健康診査の近隣市での受診を拡大できないか

宮寺賢一議員(政和) ①制度改正で近隣市との健康診査の相互乗り入れはどうか。

②立川市、西東京市、東久留米市との相互の受診に関して検討し実施する考えは。

市長 ①改正前は小金井市、東村山市、国分寺市、東大和市と行っていた。本年度から国分寺市とは再開したが、他の市とは調整ができていない。

②相手の市や医療機関の協力

緑成会病院の診療再開の実現について

西克彦議員(共産) ①再開予定日、診療科目、入院の扱いの計画は。

②以前の相違点は。

③再開の公表を、病院の玄関先に掲示するなどできないか。

市長 ①再開は本年10月1日、診療科目は、内科、小児科、整形外科、リハビリテーション科で、再開と同時に入院の扱いも開始すると聞いている。

②新たに通所リハビリテーションを開始するが、他の事業内容、ベット数等に変更はないと聞いている。

③時期は未定だが、玄関先などに掲示すると聞いている。

産業振興

小平市の農地と農業について

川里春治議員(政和) ①都市計画法の改正における都市内の農地の位置づけは。

②高齢化で管理が困難な農地への対策は。

③農地法改正による企業の農業参入をどう考えるか。

市長 ①農業生産機能を中心に憩いの場や防災機能等の機能を都市が持続していくために有用なものとして位置づけている。

②農業に携わりたい市民をJ A東京むさしを通して援農ボランティアとして養成し、農家に紹介している。

③企業の参入は地域農業者と

都市農地保全推進自治体協議会を通じて、税制面の改善等を国等に要望している。

公園用水

用水路の自然をもっと豊かにできないか

佐野都夫議員(政和) ①沼さらいの必要性は。

②小平の自然生態系の中でどのような位置づけになるか。

③沼さらい後に出るごみや土砂の処理方法は。

市長 ①用水路としての機能と美観を維持するためには不可欠なものとして認識している。地域住民の参加により、用水路への理解や啓発が図られると考える。

②詳細な調査・研究は行っていないが、一定の自然生態系が形成されていると考える。

③小平・村山・大和衛生組合へ搬入している。また、沼上げの土は土上げ敷きに均等に置くことを基本としている。

▲年に一度の沼さらい

